平成21年5月期 第3四半期決算短信（非連結）

平成21年4月14日

上場会社名　株式会社 エムビーエス　　上場取引所　福
コード番号　1401　URL　http://www.homemakeup.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山本　貴士
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　（氏名）栗山　征樹　TEL 0836-37-6585
四半期報告書提出予定日　平成21年4月14日
配当支払開始予定日　―

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年5月期第3四半期の業績（平成20年6月1日～平成21年2月28日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第3四半期	556	―	△13	―	△105	―	△106	―
20年5月期第3四半期	946	75.1	2	△92.1	△52	―	△58	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第3四半期	△17,163.13	―
20年5月期第3四半期	△10,626.91	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年5月期第3四半期	962	227	23.6	36,737.25
20年5月期	1,026	333	32.5	53,900.38

（参考）自己資本　21年5月期第3四半期　227百万円　20年5月期　333百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	―	0.00	―	0.00	0.00
21年5月期	―	0.00	―		
21年5月期（予想）				0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年5月期の業績予想（平成20年6月1日～平成21年5月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	962	△12.6	125	―	48	―	32	―	5,165.46

（注）業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有

(注)　詳細は、4ページ［定性的情報・財務諸表等］　4．その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無

(注)　詳細は、4ページ［定性的情報・財務諸表等］　4．その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年5月期第3四半期	6,195株	20年5月期	6,195株
② 期末自己株式数	21年5月期第3四半期	―株	20年5月期	―株
③ 期中平均株式数（四半期累計期間）	21年5月期第3四半期	6,195株	20年5月期第3四半期	6,195株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1．　経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱に加え、急激な円高の進行や株価下落等が企業収益や個人消費を圧迫し、景気悪化が強まる状況で推移しております。

このような経済・業界動向のもと、弊社はホームメイキャップ工法をコア技術とし、新しい仕組みの建築・リフォーム業界への市場浸透活動を行い、販売チャネルである既存パートナー企業との協働した営業活動及び新規のパートナーの開拓活動を引き続き推進致しました。また、かねてより進めて参りました技術開発につきましては、新施工方法「スケルトン剥落防災コーティング」の施工が実現し、今後の事業基盤の確立を図ることが出来ました。

更に、ＦＣや販売代理店募集の営業活動も積極的に行ってまいりました。

一方、欧米の金融不安による政策金利の引き下げなどにより、更なる円高が進んだことで、通貨スワップ取引は、引き続き影響を受けております。

これらのことにより当第３四半期累計期間の売上高は556,554千円、営業損失は13,768千円、経常損失はデリバティブ評価損87,510千円、為替差損25,604千円の計上により105,522千円、四半期純損失は106,325千円となりました。

2．　財政状態に関する定性的情報

（１）資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して63,784千円減少し、962,951千円となりました。主な要因は、現金及び預金264,641千円の減少、投資不動産320,567千円の増加、出資金200,000千円の減少等によるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して42,541千円増加し、735,364千円となりました。主な要因は、デリバティブ債務87,510千円の増加、１年以内返済予定の長期借入金34,924千円の減少、長期借入金47,407千円の減少等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較し利益剰余金が106,325千円減少し、257,194千円となりました。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ268,455千円減少し、131,516千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は17,028千円となりました。これは、主に税引前四半期純損失105,456千円、売上債権の増加額33,383千円、たな卸資産の増加額29,523千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は147,547千円となりました。これは、主に投資不動産の取得による支出320,567千円、出資金返戻による収入200,000千円、保険積立金の増加による支出49,075千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は82,332千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出82,332千円によるものであります。

3．　業績予想に関する定性的情報

当社は、平成21年1月8日に業績予想を修正しております。当第3四半期累計期間における業績は、概ね修正後の計画どおり推移いたしておりますので、同日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

4．　その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会　平成18年7月5日　企業会計基準第９号）を当第１四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更にともなう損益の影響はありません。

5.【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 (平成21年2月28日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年５月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	164,121	428,763
受取手形	29,829	5,520
完成工事未収入金	82,723	74,546
売掛金	1,472	575
原材料	54,125	50,408
未成工事支出金	32,374	28,442
仕掛販売用不動産	21,873	―
その他	10,538	29,412
貸倒引当金	△3,948	△3,289
流動資産合計	393,111	614,379
固定資産		
有形固定資産	125,524	130,998
無形固定資産	1,366	96
投資その他の資産		
投資不動産	320,567	―
その他	140,320	298,083
貸倒引当金	△17,938	△16,822
投資その他の資産合計	442,948	281,261
固定資産合計	569,840	412,356
資産合計	962,951	1,026,735
負債の部		
流動負債		
工事未払金	51,551	72,784
買掛金	28,441	9,376
1年内返済予定の長期借入金	74,864	109,789
未払法人税等	553	1,185
完成工事補償引当金	11,281	7,090
デリバティブ債務	124,221	36,711
前受金	130,878	27,052
その他	33,809	99,800
流動負債合計	455,601	363,790
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	176,759	224,167
その他	3,003	4,865
固定負債合計	279,762	329,032
負債合計	735,364	692,822

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 (平成21年2月28日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年５月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,012	185,012
資本剰余金	165,642	165,642
利益剰余金	△123,066	△16,741
純資産合計	227,587	333,912
負債純資産合計	962,951	1,026,735

(2)【四半期損益計算書】
【第３四半期累計期間】

（単位：千円）

	当第３四半期累計期間 (自　平成20年６月１日 至　平成21年２月28日)
売上高	556,554
売上原価	401,562
売上総利益	154,991
販売費及び一般管理費	168,760
営業損失（△）	△13,768
営業外収益	
受取手数料	9,982
出資金運用益	10,000
不動産賃貸収入	6,710
その他	2,379
営業外収益合計	29,072
営業外費用	
デリバティブ評価損	87,510
為替差損	25,604
支払利息	6,155
その他	1,555
営業外費用合計	120,826
経常損失（△）	△105,522
特別利益	
固定資産売却益	65
特別利益合計	65
税引前四半期純損失（△）	△105,456
法人税、住民税及び事業税	868
法人税等調整額	－
法人税等合計	868
四半期純損失（△）	△106,325

【第３四半期会計期間】

（単位：千円）

	当第３四半期会計期間 (自 平成20年12月１日 至 平成21年２月28日)
売上高	152,203
売上原価	110,609
売上総利益	41,594
販売費及び一般管理費	61,978
営業損失（△）	△20,383
営業外収益	
不動産賃貸収入	4,501
その他	575
営業外収益合計	5,076
営業外費用	
為替差損	11,624
支払利息	1,815
その他	559
営業外費用合計	13,998
経常損失（△）	△29,306
税引前四半期純損失（△）	△29,306
法人税、住民税及び事業税	300
法人税等調整額	－
法人税等合計	300
四半期純損失（△）	△29,606

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	当第３四半期累計期間 (自 平成20年６月１日 至 平成21年２月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失（△）	△105,456
減価償却費	7,618
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,775
完成工事補償引当金の増減額（△は減少）	4,190
受取利息及び受取配当金	△1,409
不動産賃貸収入	△6,710
支払利息	6,155
為替差損益（△は益）	26,065
売上債権の増減額（△は増加）	△33,383
たな卸資産の増減額（△は増加）	△29,523
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,168
その他	112,288
小計	△20,557
利息及び配当金の受取額	1,409
利息の支払額	△6,490
法人税等の還付額	10,112
法人税等の支払額	△1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△8,331
出資金の分配による収入	10,000
有形固定資産の取得による支出	△308
有形固定資産の売却による収入	9,702
投資不動産の賃貸による収入	17,113
保険積立金の積立による支出	△49,075
投資不動産の取得による支出	△320,567
短期貸付けによる支出	△26,150
短期貸付金の回収による収入	23,000
長期貸付けによる支出	△3,000
長期貸付金の回収による収入	139
役員に対する短期貸付金の貸付による支出	△2,700
役員に対する短期貸付金の回収による収入	2,700
出資金の回収による収入	200,000
その他	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△82,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,548

（単位：千円）

	当第３四半期累計期間 (自　平成20年６月１日 至　平成21年２月28日)
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△268,455
現金及び現金同等物の期首残高	399,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	131,516

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考」

（要約）四半期損益計算書

科目	前第３四半期会計期間 （自　平成19年 6月 1日 至　平成20年 2月29日）
区分	金額（千円）
Ⅰ　売上高	946,167
Ⅱ　売上原価	762,158
売上総利益	184,008
Ⅲ　販売費及び一般管理費	181,719
営業利益	2,289
Ⅳ　営業外収益	10,572
Ⅴ　営業外費用	65,598
経常利益	△52,736
Ⅵ　特別利益	3,644
Ⅶ　特別損失	5,986
税引前四半期純利益	△55,078
法人税、住民税 及び事業税	741
法人税等調整額	2,383
四半期純損失	△58,203

（要約）前四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第３四半期会計期間 （自　平成19年 6月 1日 至　平成20年 2月29日）
区分	金額(千円)
Ⅰ　営業活動による キャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失（△）	△55,078
減価償却費	4,415
貸倒引当金の増加額	14,526
工事補償費引当金の増加額	6,604
受取利息及び受取配当金	△724
支払利息及び社債利息	6,649
社債発行費	1,909
売上債権の増加額	44,561
たな卸資産の減少額	392,553
長期売掛債権の増加額	△30,924
未収消費税等の増加額	11,868
仕入債務の減少額	△324,174
その他	34,414
小計	106,602
利息及び受取配当金の受取額	724
利息の支払額	△7,135
法人税等の支払額	△9,904
営業活動による キャッシュ・フロー	△90,288
Ⅱ　投資活動による キャッシュ・フロー	
定期預金の預け入れによる支出	△13,747
有形固定資産の取得による支出	△1,874
保険積立金の積立による支出	△1,075
長期前払費用の支払による支出	△13,927
短期貸付金の貸付による支出	△155,000
役員に対する短期貸付けによる 支出	△3,000
その他	778
投資活動による キャッシュ・フロー	△187,846

	前第３四半期会計期間 （自　平成19年 6月 1日 至　平成20年 2月29日）
区分	金額(千円)
Ⅲ　財務活動による キャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	180,000
短期借入金の返済による支出	△157,000
長期借入れによる収入	260,000
長期借入金の返済による支出	△84,513
社債の発行による収入	98,090
株式の発行による収入	147,915
財務活動による キャッシュ・フロー	444,492
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る 換算差額	△284
Ⅴ　現金及び現金同等物の増加額 （△は減少）	346,649
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	147,643
Ⅶ　現金及び現金同等物の 四半期末残高	494,292